

令和6年度第1回岡山市経済政策審議会における主要な意見

1 日 時 令和6年7月26日（金曜日）午後2時～午後3時35分

2 場 所 岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

3 出席者 委員8名

4 傍聴者 報道3名、傍聴者0名

5 議 題

- (1) 産業振興アクションプラン、観光振興アクションプラン、農林水産振興アクションプランに基づく中間評価について
- (2) 企業用地の確保について

6 主要な意見

○産業振興アクションプランに基づく中間評価について

- ・ジェトロでは、スタートアップに取り組む者等を海外派遣するプログラムなどを行っている。これらを活用いただき、市内のスタートアップ創出、新事業創出の機運を盛り上げていただきたい。
- ・中小企業では、社内で社員教育、人材育成を行う力を持つことが大切と考える。会社がこのような力をつけていくことができる方策をしていただければありがたい。

○観光振興アクションプランに基づく中間評価について

- ・岡山駅周辺には、国内外の多様な人々が集まってくる。市内だけでなく、県内の「食」を集約し、情報発信をしてみてもどうか。
- ・ばら寿司を再評価してはどうか。これまで定説とされてきたもの以外に、ばら寿司は幕末の殿様の池田慶政公の好物メニューであったという文献が出てきた。これを検証等し、売り出していけばよいのではないか。

- ・岡山城・後樂園からの市内周遊が課題である。ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を契機に、文学をテーマにした町歩きコース、ツアー、ガイドをしてみてもどうか。吉備路にもモデルコースやガイドが必要。
- ・周辺地域に魅力的な自然・文化資源がたくさんある。観光目線で棚卸しをして、自然や文化に根差した暮らしの場に観光客と一緒に楽しめるような受入れ体制・観光地づくりをしてみてもどうか。滞在型の観光地の入り口となる。
- ・奉還町商店街では高校生と協働してまちおこしの活動を行っている。若い人が入ると活気が出る。いろんな若い人を巻き込む活動をしてはどうか。
- ・岡山市には魅力的な素晴らしい歴史がある。テーマとストーリーにより物語をしっかりつくっていけば、人を吸い寄せる新たな観光の魅力ができる。

○農林水産振興アクションプランに基づく中間評価について

- ・農業は従事者の高齢化、担い手不足が問題。特に家族農業など小さな農業の耕作放棄地対策に新規就農者、認定農業者を活用する仕組みを考えてみてはどうか。
- ・新規就農者より離農者がはるかに多い。農業は非常に大事な産業であり、危機を感じる。すぐに答えが出るものではないが、本格的に考えていく必要がある。

○企業用地の確保について

- ・岡山市内の工業団地はいっぱいになっており、工場等を拡張する場合など、市外に出ていかざるを得ない。製造業が必要な用地を確保することに便宜を図っていただきたい。